

○総会・懇親会の報告

去る4月21日、作業を終えた後、5時から19名の参加を得て総会を開催しました。令和4年度の事業報告と決算報告があり、続いて令和5年度の事業計画、予算についての説明を聞き、全て原案通り可決されました。

昨年度はコロナ禍のため計画していた事業が出来ず、特に25周年の記念事業が全て本年度に繰り越すことになりました。具体的な内容については個々に配布した資料をご覧ください。なお、作業日数は昨年度より5日多く、実働延人数も34人多い参加がありました。総会終了後、4年ぶりに懇親会を行い楽しく語り合い予定通りの時間で散会しました。



令和5年度総会のようす

※ 今岡吉郎氏ご夫妻退会・・・今岡吉郎氏には会の当初から参加され、永年にわたり活躍されました。特にプレハブ小屋の設置、観察路の増設補修、またフジの育成（フジ棚設置）等に率先して取り組んでこられました。今回高齢により退会されたものです。これまでのご尽力に感謝申し上げます。

○研修会に参加して

先日の28日、19名が参加し鳥取県日野郡日南町神福のサクラソウを見学に行きました。当日は天候に恵まれ計画通りの旅行ができました。

サクラソウは、県境にある山間の日当たりの良い一画に、桜に似た可憐な花を咲かせていました。ここには、きれいな小川が流れ丁度満開でしたが、花の数は少なく、雑草の勢いにやられ次第に減少しているとのことでした。この花を維持管理する



サクラソウ



サクラソウの観察

ため17名で「サクラソウを守る会」をつくり、保存に力を入れ花の咲く期間中は交替で当番を行っているとのことでした。帰りに、安来市東比田の縄久利神社を参拝し、猿隠高原のシバザクラを見学して帰りました。

○キンランを楽しむ会

今年の楽しむ会は、5月7日（日）10時からの開催ですが、当日は8時30分から準備をします。少し早いですがご都合をつけて参集下さい。気候の関係で早咲きの花は見頃を過ぎていますが、大半は丁度よい頃だと思います。ただ空模様が心配です。小雨決行ですのでよろしくお願いします。

田和山の樹木 第39回 「タラヨウ」



タラヨウは、静岡県以西の本州、四国、九州を原産とするモチノキ科の常緑広葉樹です。田和山には、尾根の散策路沿いに数本みることが出来ます。大きくて艶のある葉と秋に稔る赤い果実を特徴とし、各地の庭園や公園、街路にも植栽されています。葉は肉厚で20cmぐらいの長楕円形をしていてツヤがあり、葉縁は細かい鋸歯があります。花は4～5月に咲き、色は淡黄緑色で直径4mmほどで、葉の付け根に群れています。秋には8mmほどの小さな球形の赤い実になりますが、雌雄異株です。

葉の裏面を硬い棒などで傷付けると、その部分だけが黒く残る性質があり、紙が希少であった戦国時代にはこの性質を利用して情報のやり取りをしたことから、「ハガキノキ」という別名があります。現代でも定形外郵便としてハガキに利用できます。（タラヨウの葉に限らない）。

郵便局の木として定められており、各地の郵便局の前などにも植樹されているそうです。山陰でよく見るモチノキ科の樹木には、これまでに紹介したモチノキ、ソヨゴ以外に、クロガネモチ、イヌツゲがありますが田和山ではまだ見つけることが出来ません。

（竹下記）

今月の活動予定

5月7日（日）8:30～キンランを楽しむ会、12日（金）13:30～、20日（土）9:00～、26日（金）13:30～

6月2日（金）13:30～、9日（金）13:30～、17日（土）9:00～、23日（金）13:30～、30日（金）13:30～